

加賀友禅会館

加賀友禅会館は、加賀友禅に特化した小さな展示館だ。加賀友禅とは、高級な絹の染色技法だ。加賀友禅は、5色（臙脂・藍・黄土・草・古代紫）を基調とした色彩と、複雑なデザインが特徴だ。江戸時代（1603–1867）に、現在の石川県を含む加賀藩で始まった。この技法は、加賀藩統治時代に、前田家の支援のもとに栄えた。

この会館は、素晴らしい職人が手がけた加賀友禅の着物を展示している。また、加賀友禅の工房があり、職人たちによる染色工程の実演もある。訪問者たちは、本物の加賀友禅を着ることができ、また、ハンカチまたはトートバッグにデザインを染色できる。